

■ 高齢者訪問まとめ 守谷市北部地域包括支援センター

訪問期間:令和5年6月1日(水) ~ 令和6年1月12日(金)

(1) 高齢者訪問について

昨年度までの熱中症予防訪問から継続して実施しているため、高齢者の受け入れがよく、コミュニケーションがとりやすくなったように感じた。

訪問の中で最近活動(スポーツジム、サロン等)を始めたという声を多く耳にし、新型コロナウイルス感染症による活動自粛が緩和され、自ら動きだしている印象を受けた。

また、運転免許の返納について話題になることもあり、その後の生活の不便さを思うと、免許の返納への一歩を踏み出せないという意見も聞かれた。

多くの高齢者は、年相応に見えないぐらい元気で若々しく、来年度もまた訪問する旨を伝えて終了することができた。

(2) 訪問内容について

警察から情報提供を受けた詐欺のチラシ等を配布し、丁寧に注意喚起を行った。

独居の方は、具体的な食事内容や家事の様子など、夫婦のみの世帯は、2人の役割分担などから生活の様子を確認するように心掛けた。

(3) 民生委員との連携について

民生委員との連絡連携が増え、高齢者訪問だけでは把握することが難しい情報を得ることができ生活状況実態が把握できたことで新たな掘り起こしにもつながった。

オートロックのマンションの訪問は、介入が難しく、面談までがなかなかつながらないため、民生委員との連携は欠かせないものとなった。

今年度は、地域で気になる方や心配な方について民生委員から連絡をいただくことが多くなっており、連携の体制が整ってきている。

(4) 再訪問について

・フォローB(再訪問1か月以内)の7件について

今回の訪問により、介護保険の申請やその他のサービスの導入のきっかけとなった。

・フォローの方の多くは北守谷地区で、体調確認や認知機能低下がみられたため確認の訪問となっている。

・大井沢地区と大野地区は、敷地内同居や家族が近隣にいるため親族間等で問題を解決できていることが多い。

(5) 次年度に向けて

① 高齢者訪問の内容について

昨年の記録等を確認してそれぞれに必要な支援について検討する。そして対応が難しく配慮が必要と思われる方は、チーム内で情報共有し検討を行なう。必要に応じて、訪問前から民生委員と連携し協力を得ながら活動をおこなっていく。

積極的にまちづくり協議会や地域のイベント等に参加して、民生委員以外の地域の方に顔を広げていくことで関係性を構築し、地域の中でも情報収集していけるように努めていく。

また、免許の返納など高齢者の生活に直結する問題について、一緒に考え支援していけるように情報収集をおこなっていきたい。

② 訪問体制について

職員が増員となったことで、訪問時間に余裕ができ、丁寧に訪問活動をおこなうことができた。昨年度よりも、訪問時に多くの情報をキャッチすることができたと感じている。

男性2名、女性2名の職員体制を活かし、高齢者の状況や心情を配慮した訪問体制を調整していきたい。